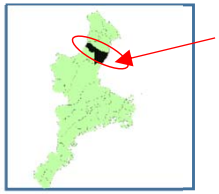
令和２年度 浜の活力再生プラン優良事例表彰　取組概要

鈴鹿市漁協地域水産業再生委員会

農林水産大臣賞

地区の概要



○　三重県北部に位置し、モータースポーツ開催地としても有名な鈴鹿市は、沿岸部では水産業や水産加工業が盛んであり、ばっち・船びき網によるイワシ・イカナゴや底引き網によるアサリ、黒ノリ養殖が中心

○　季節に応じた漁業種類の組み合わせによる生産の安定化、直販所運営や量販店への直販による漁獲物の付加価値向上等に総合的に取組むことで漁業者の所得向上を実現するとともに、多面的機能発揮の取組も実践

○　鈴鹿市漁協、鈴鹿市で構成する地域水産業再生委員会が取組を推進

主な取組の概要

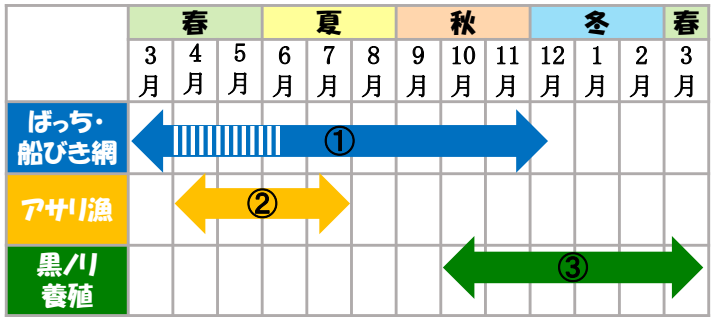
漁業種類の組み合わせによる生産の安定化

・仔稚魚調査・試験操業のデータを基に、親漁の産卵状況や市場価値の高い体長に達する日を確認・予測し解禁日を決定、操業データを基に親の残存尾数確認し終漁するなど科学的な分析を基に資源管理ルールを遵守・徹底
→資源・生産量の安定

マイワシ

イカナゴ試験びき

・環境変化の影響を受けやすい内湾性の漁場において、季節に応じた機船船びき網漁業、貝けた網漁業、黒ノリ養殖業などの漁業を組み合わせ
→安定した生産・収入の確保



年間の漁業スケジュール　※イカナゴは資源悪化によりH28年から出漁を見合せ中

漁獲物の付加価値向上

・漁協運営の直販所「魚魚鈴（ととりん）」を活用して、前浜で漁獲された魚介類を加工、直販し、地元住民から近隣市町に至る幅広い来客を誘致
→延べ3.5万人が来店、4,400万円の売り上げ（令和元年）

直販所「魚魚鈴（ととりん）」

・主に餌用として取引されるイワシ類や混獲魚であるマダイやサワラを、自分たちで値付けしたうえで「鮮魚ボックス」と名付け、大手量販店１店舗へ直接出荷
→好評を博し、他の店舗へも展開予定

前浜産鮮魚の販売及びPR

多面的機能発揮の取組

・漁協及び青壮年部が、鈴鹿川上流部の鈴鹿森林組合との植樹等を通じた交流、小学生の社会見学の受け入れ等による交流・情報発信活動、海浜清掃、川から出るゴミの除去、海底耕うん、密漁防止啓発等の漁場環境の保全活動
→　多面的機能の発揮を通じた鈴鹿の魚のファンづくり

森林組合と連携した小学生との体験交流活動

市民も参加する海浜清掃

全漁業者が参加する海底耕うん